

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

我が信条に基づき、お客様・社員・社会・株主の責任を果たし、どこまでも農家とともに事業拡大を実現する

売上高
18,373百万円

営業利益
2,345百万円

親会社株主に帰属する
1,369百万円

2 中長期の経営戦略

1. 研究開発の充実

新規剤の早期投入と既存製品の競争力強化。バイオスティミュラント・生物農薬等の研究開発も推進

3. 総合的サービス提供型への転換

土壌診断・GGAP認証支援・カネショウファーム・カネショウゼミナール等の農家支援サービスを拡充

2. 生産体制の強化

福島工場の操業停止に代わり、2018年11月に山口工場を建設。茨城・直江津工場と併せた安定供給とコスト削減を実現

4. 海外事業の展開

北中南米・欧州・アジア等主要地域で独自商品の登録取得と積極的な拡販を実施

3 対処すべき課題

① 規制環境への対応

- 改正農薬取締法に基づく既登録農薬の安全性再評価が必要
- 世界市場で環境影響評価が強化され既存薬剤の淘汰が進行

② 生産体制の最適化

- 山口工場を含む新たな物流体制の強化
- 自社生産比率向上による利益率改善

③ 事業環境の不確実性

- ロシア・ウクライナ情勢長期化による資源価格高騰が継続
- 福島原発事故による損害賠償訴訟が現在も係属中

面接で使えるポイント

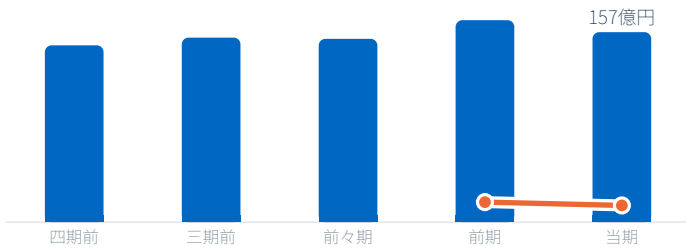
- 改正農薬取締法2018年12月施行への対応と新規安全性評価への取り組み
- 2018年11月山口工場建設で福島工場の機能を補完し物流拠点として強化
- 2022年～2025年の中期事業計画で持続可能な農業推進とサステナビリティ経営を実現

アグロ カネショウ株式会社

化学 | 非上場（有価提出会社） | 決算期 12月31日 | 連結…

EDINETコード E00860

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

当社と連結子会社3社の合計4社で構成されており、土壌消毒剤、害虫防除剤

主力事業・セグメント

- ・化学（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・営業利益率8.8%の安定した収益性

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
157億円

営業利益率
8.8%

財務健康度
67点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 43.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
577万円

平均年齢
40.8歳

平均勤続
12.7年

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

アグロ カネショウ株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

